

伴走型小規模事業者支援推進事業による 飲食業調査報告書(まとめ)

1. 調査概要

粟野商工会管内のそば店を1月16日から31日の期間に巡回し、その特徴や、経営課題、今後商工会に期待する支援策などについてのヒアリングを行った。

2. 調査店舗

粟野商工会管内 14店舗

3. ヒアリング内容と結果

店舗の特徴

粉の産地は仙波、永野、鹿沼とさまざまであるが地粉を使い、手打ちを特徴とした店舗が多い。その中でも温泉施設や釣り堀、売店などと併設している店舗も多く見受けられた。こうした店舗は集客力が高い。

また、そばだけでなく、うどんも手打ちであったり、定食類や丼ものなどに力を入れ、幅の広い客層を取り込んでいる店舗も多かった。

スタンプラリーについて

是非やった方が良さそう	4件
一定の効果はある	5件
やる意味はない	5件

スタンプラリーの評価は3つに分かれた。是非やった方が良さそうという店舗は、以前やった際にお客様が増える効果があったと答えた。

一定の効果があるという店舗は、店にはメリットがそんなに感じられないが、お客様は喜んでいただいていたというものである。

やる意味はないという店舗の共通した意見は、スタンプラリー客はその店舗のターゲット顧客ではないということである。スタンプラリー客は一過性であり、1日に何件も蕎麦屋を回る。じっくりそばを味わってほしいという店舗コンセプトにはそぐわないということである。

イベントについて

もっとやるべき	0件
大変だけど、集客効果はある	5件
大変なのでやりたくない	9件

イベントに関しては、否定的な意見が多かった。一定の効果は認めるものの、自店舗の営業を行いながらイベントに参加することの大変さを強調する店舗が多かった。実際にイベントが店舗の負担になっているのでやりたくないとの声も8件あった。

また、店舗に協力する店舗としない店舗があり、不公平であるという運営面での問題点を指摘する声も少なからずあった。

そばマップの改定について

効果がある。是非作って欲しい	12件
あればあった方がよい	2件
必要ない	0件

そばマップに関しては基本的に賛成の声しかなかった。しかし、今までのような内容ではなく、賛成した方々が期待するそばマップの内容は、観光情報、トイレ情報、また、粟野地区での1日の過ごし方を提案するようなものである。

また、そばマップと連動し、看板の設置による粟野町全体での回遊性の向上や、マップをインターネット上でダウンロードできたり、WEB上で見やすくするなどのWEB対応は必須であるとの声が多かった。

その他、商工会等への要望、ご意見

- ・観光客を呼び込める観光施設を作って欲しい。
- ・城山などの再整備をしてほしい。
- ・そば組合で原材料を共同購入するなどして、原材料の確保、及び原価の低減などを行ってほしい。
- ・粟野だと何をやっても難しい・・・
- ・後継者がいないので、あまり考えていない。
- ・合併以来、鹿沼の中心街ばかりがクローズアップされているのではないかと。
- ・道路の整備をしてほしい。
- ・農家の減少により、地元産のそば粉を確保できなくなる不安がある。

【作成/監修】

〒327-0806

栃木県佐野市犬伏上町2246-3

カメダビジネスサポート

中小企業診断士 亀田 泰志